

(別記様式第4号)

普及活動検討委員会評価結果及び意見等に対する対応方向

実施月日：令和4年3月4日（金）

実施場所：宮城県庁行政庁舎 1101 会議室

1 委員

所 属	氏 名	所 属	氏 名
宮城大学食産業学群	川島 滋和	株式会社クボタ	及川 一也
宮城県指業士会	公平 伸行	宮城県農農業同組合中央会	千葉 康司

2 検討内容

	検 討 項 目
(1) 令和3年度の農業革新支援専門員プロジェクト活動の取組について (資料4-1, 2) (資料5-1, 2)	①農業経営の効率化に向けたアグリテックの活用 ②ICTを活用した新たな案普及活動の実践
(2) 令和3年度の農業革新支援専門員プロジェクト活動の計画について (資料6, 7)	①農業経営の効率化に向けたアグリテックの活用 ②集落営農組織の体制強化と経営発展

3 委員の評価と県としての対応方向

検討項目	評価値 (委員平均)	評価結果 (コメント, 評価表の要約)	県としての対応方向
(1) 令和3年度の農業革新支援専門員プロジェクト活動の取組について ①農業経営の効率化に向けたアグリテックの活用 (資料4-1, 2)	4.5	アグリテック等の先端技術は、情報不足のために導入が見送られるケースが多いが、「みやぎスマート農業推進ネットワーク」を使い積極的に情報発信する姿勢は高く評価できる。実際に導入するか否かの判断には、導入効果のみならず、購入費用やメンテナンス等の情報も必要となる。それらの情報提供もお願いしたい。	・今後、営農計画書等の作成支援を行う際には、ご指摘の項目含めて支援して参ります。
		①活動展開の方向性 スマート農業コンソーシアム実証において代表機関を務めるとともに、普及の立場で導入事例における効果を、具体的に分析し発信した。 ② 目標達成程度 中山間水田での水管理や複数台ドローンでの作業、異株の機械的除去など、全国からも注目される成果を得た。スマート農業普及指導の礎となる活動である。	

		<p>今後、農業人材の減少が進むと思われることから、スマート技術の普及活用が重要と思う。農業者に対して引き続き、支援をお願いしたい。</p>	<p>・スマート機器を活用した省力で効率的な農業経営の展開について、引き続き支援して参ります。</p>
		<p>・高齢化・過疎化が進む中山間地域において、省力化を図ることのできるアグリテックの導入事例の蓄積は、普及に向けて効果的であると評価できる。</p> <p>・生産技術面でのアグリテック導入も必要であるが、草刈や水管理等の圃場管理等でも人手不足があることから、導入効果の検証を期待する。</p>	<p>・スマート農業技術の開発・実証プロジェクトにおいて、水管理の省力化についても取り組み、導入効果と課題の検証を行っております。</p> <p>・スマート機器の効果的な導入に向けた営農計画作成支援においては、栽培管理以外のスマート技術の導入も含め、支援して参ります。</p>
<p>○検討項目（プロジェクト活動（実績））</p> <p>・農業革新支援専門員プロジェクト活動</p> <p>② ICTを活用した新たな案普及活動の実践 （資料 5-1, 2）</p>	<p>4.3</p>	<p>・ICT技術を使った農業普及は、ポストコロナにおいても重要な役割を果たせると期待している。</p> <p>・対面では普及対象となる農家を限定せざるを得ないが、ICT技術を使えば、より多くの農業者に向けて普及活動が展開できる。</p> <p>・また、ICTを使った普及活動は、動画等で蓄積できることから、これまでよりも効率的、効果的な農業普及活動ができるようになると思う。</p>	<p>・今回の取組を踏まえて、引き続き普及指導員が効果的な普及活動に取り組めるよう、革新支援センターとして支援して参ります。</p>
		<p>① 計画の設定 「宮城県 IT 推進計画 2」など上位計画の実現に資する射的を射た計画である。</p> <p>② 活動展開の方向性 先駆的な営農モデル提示数を成果指標とし、官民一体の支援体制で現地の普及展開を図ろうとする意欲的な内容であり、効果が十分に期待できる。</p>	
		<p>・時間効率からみて、地方には今後も必要な取組であると思う。</p> <p>・現地で活用もされ、ハイブリットの活用にも期待する。</p>	<p>・現地で、普及指導員が有効に活用できるよう、引き続き革新支援センターとして取り組んで参ります。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・一堂に会することなく会議・ミーティングができることは時間的にも効率的であり、今後さらに活用されることから効果的であると評価できる。 ・今後、生産現場からの参加も含めた web ミーティングの普及に向けてマニュアル整備を進めていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現地で、普及指導員が有効に活用できるよう、引き続き革新支援センターとして取り組んで参ります。
<p>○検討項目（プロジェクト活動（計画））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業革新支援専門員プロジェクト活動 <p>①「農業経営の効率化に向けたアグリテックの活用」（資料6）</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・農作業の指示を出す経営者の労働時間を削減するのか、あるいは、アルバイト等の雇用労働者の労働効率を高められるのかなどの、アグリテックによる省力化の中身が明確になるとさらに良くなると思う。 ・アグリテックを導入するような大規模経営体では、農作業の指示や監督に時間とかかるとされており、アグリテックの導入により、誰でも、安心して、農作業ができるようになり、農業の効率化が進むことを期待しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート機器の導入に当たって、省力化による効果的な人材活用や人件費等も含め、効果的な営農計画の作成支援を行って参ります。
		<p>① 計画の設定 「宮城県 IT 推進計画 2」など上位計画の実現に資する射的を射た計画である。</p> <p>② 活動展開の方向性 先駆的な営農モデル提示数を成果指標とし、官民一体の支援体制で現地の普及展開を図ろうとする意欲的な内容であり、効果が十分に期待できる。</p>	
		<ul style="list-style-type: none"> ・農作業事故や鳥獣害対策にも活用できるよう期待している。スマート技術の取組の更なる拡大に向けて、普及できる指導者数も増えると良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援経営体が、他の経営体に対してアドバイスができる「アグリテックアドバイザー」となれるよう支援して参ります。
		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化・過疎化が進む中山間地域において、省力化を図ることのできるアグリテックの導入事例の蓄積は、普及に向けて効果的であると評価できる。 ・生産技術面でのアグリテック導入も必要であるが、草刈や水管理等の圃場管理等でも人手不足があることから、導入効果の検証を期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業技術の開発・実証プロジェクトにおいて、水管理の省力化についても取り組んでおります。 ・スマート機器の効果的な導入に向けた経営計画作成支援においては、栽培管理以外のスマート技術の導入も含め、支援して参ります。

<p>○検討項目（プロジェクト活動（計画））</p> <p>・農業革新支援専門員プロジェクト活動②</p> <p>「集落営農組織の体制強化と経営発展」（資料7）</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・集落営農組織の設立や体制強化に関しては、これまでに一定の実績がある。集落営農組織を立ち上げた農業者やこれから集落営農組織の設立を考えている農業グループらを相互に交流させることで、農業者の視点から見た集落営農組織のメリット、デメリットが明らかになると思う。 ・専門家による伴走型の支援も必要であるが、農業者同士の意見交換によって、集落営農組織への理解が深まると考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修等をとおして、法人化した集落営農組織の運営状況や、集落営農のメリット・デメリット等の事例紹介を行うとともに、伴走型支援を受けた集落営農組織からの状況報告や情報提供等を行うことにより、集落営農組織の法人化や経営発展に対する理解醸成に取り組んで参ります。
	<p>① 計画の設定</p> <p>集落営農の農業経営基盤強化と、指導力の大幅な向上を図る取り組みである。</p> <p>② 活動展開の方向性</p> <p>民間コンサルのノウハウを活用しつつ、適切な技術指導を行うとともに、指導力の研鑽が図られるよう、積極的な活動が望まれる。法人の経営改善には技術改善が不可欠であるとの気づきを与えていただければ、十分な効果が期待できる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降は、各地域の集落営農支援の状況について普及指導員が定期的に情報交換を行う場を設定するほか、集落営農組織の法人化支援や経営支援手法の習得に向けた研修を複数回実施し、普及指導員の指導スキルの向上を図って参ります。
		<ul style="list-style-type: none"> ・平坦地では、法人化した組織と、法人未達成組織の認識の違いが大きい。これからも法人化支援を進めてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も当課の「地域を守る、集落営農モデル支援事業」の実施や、国の「集落営農活性化プロジェクト促進事業」の活用等により、集落営農組織の法人化支援や、法人化後の円滑な組織運営及び経営発展支援に取り組んで参ります。
		<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用型作物については、集落営農組織の法人化による経営体質強化も必要であるが、法人化しても後継者育成ができていないと法人の継続性に問題が生じることから、将来ビジョンの策定にあたっては、その点も考慮した支援を期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業・園芸総合研究所では、令和4年度より、集落営農組織も含めた農業法人の円滑な事業承継の支援に向けた試験研究を実施することとなっています。また、当課及び農業改良普及センターにおいても、近年、農業法人の事業承継や後継者育成に関する研修等を実施しております。こうした取組をとおして、後継者確保と事業承継が円滑に行われ、集落営農法人が継続していけるよう努めて参ります。

<p>その他，本県の農業普及活動に関する，御意見，御要望等</p>	<p>集落営農法人と広域農業法人の役割の明確化と，その核となる人材の育成において，個別ビジョンを推進する市町村や団体組織への普及組織の支援が重要になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国に先駆けた宮城県の農業普及活動に大いに期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご期待に添えるよう引き続き取り組んで参ります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣害被害対策と農作業事故防止の支援・普及についても，これまで同様に支援をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域の実情に応じて支援を行って参ります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響が長期化する中，米の需給環境は厳しい状況が続いており，子実トウモロコシ等の飼料作物を含めた土地利用型作物の栽培技術研究の指導等を期待します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普及活動としても水田フル活用に向けて，支援を行って参ります。